

## 令和4年度 園の自己評価

A…できている B…おおむねできている C…一部改善を要する D…改善を要する

1. 保育理念、保育観		
1	園の保育理念、保育方針、全体的な計画を全職員に周知している	A
2	園の保育方針を基にした、全体的な計画が立てられている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている	B
4	全体的な計画を基に行事や園外保育を計画し、実践、分析、評価を行っている	A
<p>年度の始めには、園長から園の方針について説明がされ、全職員が共通理解をした上で、保育にあたる事ができるよう心掛けている。</p> <p>コロナ禍も3年目になり、「withコロナ」の生活の中での保育が確立されてきたように思う。行事の中止、縮小ということも経験したが、やはり行事を通じた経験での成長の大きさや意味合いの大切さを知り、今年度は保護者にも協力を求めながら行事を行ってきた。保育者は、今年度も自分の保育についての自己評価チェックも行き、評価のよくなかった項目に対しては、そのことを意識しながら保育を行うことができている。</p>		
2. 保育計画、保育実践と振り返り		
1	全体的な計画を基に、各クラスで年間の目標を立案し、計画的に保育を行っている	A
2	子どもの発達を理解し、その先に見通しを持った保育を工夫している	A
3	配慮が必要な場合は、職員が共通認識を持ち、その子に応じた対応をしている	A
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に生かせるようにしている	A
<p>クラス計画は、クラスリーダーが主に作成するが、クラス内ミーティングや乳幼児ミーティング等で、その内容について話し合ったり、反省点の見直しが行われている。</p> <p>発達の個人差における支援の必要な子どもについて、園内だけでなく、幼児言語教室、児童発達支援施設や大学講師などといった外部の機関とつながりを持ちながら、支援にかかわる関係者が連携を合せて保育をする形がとれるようになった。</p> <p>個別支援が必要な子どもが年々多くなる中、今年度は大きな一歩を踏み出した年になれたと思う。</p>		
3. 環境、安全		
1	一人一人が安心して過ごせる環境を工夫している	A
2	園の保育方針を基にした、環境構成が整えられている	A
3	職員一人一人が健康、安全に対する認識を持っている	A
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	A
<p>園の保育方針であるモンテッソーリ教育の環境構成については、子どもの観察をしながら、子どもの興味や発達に合わせた環境が常に用意されている。</p> <p>災害対策の面では、「防災の日」を設け、消防署立ち合いの避難訓練、非常食の試食(非常用食具を使用)、保護者への引き渡し訓練などを総合的に行い、園児、職員ともに防災への意識を強く持てる機会を年に一度設けている。</p>		
4. 食育		
1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	栄養士、保育士などが連携し、食育を積極的に進めている	B
3	食材の安全に配慮した上で、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食などの特別食に配慮している	A

<p>今年度は新型コロナウイルスの陽性者数が過去最高と、大きく報道されることも多く、クッキング活動には慎重な姿勢の一年となった。</p> <p>収穫体験をした野菜は、クッキングでなく、給食室で調理をされ給食で味わう形が多かったが、栄養士や調理師の丁寧で繊細な調理や味付けにより、野菜もよく食べ、バランスのよい食事ができるようになっている。</p> <p>食物アレルギーも多種に渡り、ひとり一人に合わせたものの提供をしなくてはならないので、大変な部分でもあるが、今年は遅番のおやつので摂取で誤食が1件起きてしまった。幸い、重篤に至ることはなかったが、ヒヤリハットの事例として取り上げ、事故防止についての話し合いを行った。</p>		
5. 職員構成、役割分担、研修		
1	職員の仕事や役割を明確にし、連携しながら円滑に保育が進むよう、心がけている	A
2	園内、園外研修の年間計画を立てて、実行している	A
3	各職員が保育を深めるための研修を積極的に行っている	A
<p>昨年度はリモートで行っていた職員研修も、今年度は講師を招いて、全職員を対象にした研修会を行うことができた。</p> <p>また、講師がかかわる複数の園とのリモート研修では、事例を出し合って話し合うなど、これまでにない形の研修を行うこともできた。</p> <p>園務分掌として、各職員の個性や得意なことを生かしながら、係や担当を決め、園の運営に一人ひとりの力が発揮できるように配慮をしている。</p>		
6. 保護者支援、子育て支援		
1	保護者に対し、園の保育保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	A
2	保護者の状況など、個人情報への漏えいにつけている	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共有するよう、心掛けている	A
4	地域で子育てをしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	B
<p>今年度は、2回の保育参観を行い、保育への理解を得るための努力を心がけた。</p> <p>園だよりやクラスだよりを丁寧に作成し、日頃の活動の様子を伝えているつもりでも、やはり実際に見て頂かないと伝わらないことも多いと思うので、3年ぶりの開催ができたことは、保護者にも園にも、喜ばしいことだったと思う。</p> <p>月一度の「子育てサロン」は、コロナ禍の中で、子育て中の母親、もしくは親子が、閉塞感や子育てのストレスを軽減できる場になれるよう、サロンを開催することが子育て支援につながると判断して行ってきた。</p> <p>感染対策を強化したり、予約制での人数制限をするなど、制限も多かったが、それでも来園される親子には喜ばれる場所や時間となっていたことが伺えた。</p>		
7. 小学校や地域社会との連携		
1	定期的に地域の保育園や幼稚園、小学校との交流を行っている	B
2	町内会や地域の方との交流を積極的に行っている	B
3	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れ体制が整えられている	A
<p>今年度より、地域の小学校が幼保園と連携をはかる参観会や意見交換会を開催して下さり、接続の連携が一歩前進している。縦のつながりができたので、子ども園、保育園、幼稚園の横のつながりができることが理想だが、小学校を中心にして、学区の園が一同に会することだけでも新しい試みとなっている。</p> <p>地域の老人ホームへの慰問もできなかったが、ビデオレターを届けるなどして喜ばれた。「コロナが5類になったら慰問に来てほしい」と早々に言われているので、次年度にはそのような準備もしたいと思う。</p> <p>実習生の受け入れもでき、受け入れた学生に対しては、職員全体が温かく迎え入れる姿勢を持ち、丁寧な指導を行うことを心掛けてきた。</p>		